
自分史

彩華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自分史

【Nコード】

N1071B

【作者名】

彩華

【あらすじ】

ウチ（彩華）の今まで。セクシャルマイノリティや汚い表現などがあります。それでも読んであげるって方はぜひ読んでください。

誕生

1989年4月25日

ウチは京都で生まれた。

この時、ウチは望まれて生まれてきたん？
それとも…

ウチは京都で生まれて滋賀で5才まで育った。

この頃の記憶は曖昧やけど父親の厳しさだけは覚えてる。今考えれば厳しかったんか、ただ嫌われてたんか微妙やけどその頃は嫌われてるって考えたくなかった。

冬になると、怒った父親に服を全部脱がされて、パンツ一丁で一晩中家の外に放り出されたのを覚えてる。あとは、よく叩かれた。

母親も最初は止めてくれてたけど、段々見て見ぬフリをするようになった。

この頃くらいから6才年上のお姉ちゃんに

『お前は橋の下から拾われて来てんで。だからお父さんに叩かれるし、外に放り出されるんやで』

で、よく言われてた。その言葉は何回も言われたから小さい時は本気で信じてたし、今でも時々

『拾われたんやろか？』

で、考える。

引越し

1994年

ウチは『今、此処にいるんはホンマの家族やないんかな…』と、毎日考えるようになった…

そんなある日、母親から言われた。

『彩華、来月から京都のお婆ちゃんと一緒に住む事になったし』

へっ?! 保育園は??

とか、ウチ一人戸惑ってるなか、引越しの準備が調っていく。

ついに引越しの日。

この日は、やけに父親の機嫌が悪かったらしく、よく叩かれた。

この頃、もう父親は口より先に手が出てくるようになっていて、ウ

チの服の下は青痣が赤く腫れている場所ばかりだった。

そして、痛くてウチが泣くと更にイライラした様に叩かれた。

『ウチは泣いてもアカンのや…』

ウチは段々どんな事があっても泣く事もなくなって、周りの大人からは不思議がられてた。

京都では母親の実家で暮らす事になった。

母親の実家には祖父、祖母、叔母、叔父、従姉妹が居た。

ウチは初めて会ったと思ってたケド、実際は生まれて1ヶ月位の間、京都にいたらしい。

『おお、明日美、彩華、よお来たなあ。仲良うしとるかあ?』祖

父が聞いてきた。

明日美はウチのお姉ちゃんのコト。

いつもはウチに見せない笑顔でウチの手を掴みながら『仲良しやでえゝなあ、彩華？』

ウチがなんも答えずに俯いてると、手の甲をつねられた。

『痛っ』

『彩華？どないしたん？』叔母が不思議そうに聞いてきた。その様子を見ていた母親は

『なんも無いやんなあ、彩華？』と聞いた。

『…うん…』

この時、父親はもちろん姉も母親さえも怖かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1071b/>

自分史

2011年1月28日10時38分発行